

発展
「ねえねえ」
(30分)

監督：長岡京香



あらすじ

大学生の寧々は、同じアカペラサークルに所属する優稀のことが気になり、つい目で追ってしまう。優稀はその視線に気づき、距離を縮めようとするが、どこか上手くいかない。一方、優稀に思いを寄せる玲奈は、二人の距離が近づくにつれて複雑な感情を抱き、寧々を意識するようになる。そんなある日、寧々は玲奈が優稀に抱きつく姿を目撃し、思わず早足でその場を離れる。しかし抱いていた感情は、失恋とはどこか違っていた。寧々が優稀を意識してしまうのは、彼女の中にある「こだわり」が理由だった。誰にでもある小さな癖や執着。それはときに過去の後悔や思い残しと結びつき、日常へ影響をもたらす。寧々の抱えるそのこだわりとは何なのか。人が心の奥に抱え続けているものを静かに描いた作品。

監督コメント

感情がうまくつかめない寧々と、控えめで優しい優稀。一見すると穏やかで相性の良さそうな二人ですが、どこか不思議な距離感があります。みなさんは、過去に後悔したことはありますか？おそらく、まったくないという人はいないと思います。本作には、そんな心のひっかかりのようなものが、二人の中に静かに流れています。物語が進むにつれて、寧々のある小さな「こだわり」が見えてくるはずですが、一見、優稀に好意を寄せ追いかけているように見えますが、それは、寧々にとって過去の自分と向き合うための償いのような行為でもあるのです。誰にでもある、けれど意外と人には見せないその「こだわり」を通して、人の人生観や価値観がふと顔をのぞかせる瞬間を描きました。作品を観るときは、ぜひ視点を少しずらして、二人の表情や仕草、その背景にある何かに思いを馳せながら楽しんでいただくと嬉しいです。

【キャスト】安岡優海／竹内隆輔／市川奈那子／武蔵野大学アカペラサークルMAM【スタッフ】撮影：川口真衣／大島佳汰／照明：河野大夢／野宮彩羽／録音：守永楓／田口美来／宮田若奈／制作：小林陽／増田央輔／脚本・編集：大島佳汰／畔上桃／使用楽曲：「切手のないおくりもの」財津和夫／「N.O.」電気グルーヴ／音楽：BGMer／ロケーション協力：ひばりクリーニング／カラオケディーブブルー／協力：堀口凌世／山田直輝／小澤侑成／製作：武蔵野大学／監修：小谷忠典